



中越大地震から二周年 防災訓練で地域内の連携を確認

コミュニティ振興協議会 江尻 東磨

十月一日(日)、午前八時三十分、震度六弱の地震発生を想定した「北条地区防災訓練」を北条中学校を会場に実施しました。全参加者は八百五十人。

コミュニティ祭りを中止してまで実施したこの訓練の目的は、中越地震で数多く残した課題を教訓に、二十一の全町内会が立ち上げた自主防災会とコミュニティを核とした地区災害対策本部との情報収集伝達体制の確立にあります。

また、防災が特別なことではなく、今日、いつ襲ってくるかわからない災害に備え、地域住民が相互に助け合う防災体制の整備と意識の高揚を図ることも目的の一つでした。

訓練は第一部と第二部で構成。第一部は地域内の連絡体制を確認。第二部は、地域の各団体や陸上自衛隊、消防署、行政などの公的機関と連携し、多様な訓練メニューを展開しました。

特に前日からの作業を要した倒壊家屋の設営には、北条商工会建築部会の皆さまが全面的にご支援くださり、迫力ある人命救助訓練を実施することができました。ご協力いただきました皆さまには心よりお礼申し上げます。

このたびは災害弱者支援のための「要援護者台帳」も作成しました。いざとなったら近所の助け合いです。みんなで災害に強い地域づくりを目指しましょう。

北条地区
コミュニティ
振興協議会
TEL25-3355

くりはら のあ

地域懇談会が 開催されます

柏崎市では「住みやすい地域づくり」をテーマに、地域懇談会を開催しております。主に地域づくりを観点としたテーマについて懇談し、活力ある地域づくりの推進を目的としています。

各地域の日程は広報「かわざき」(九月五日号)に掲載されておりますが、北条地区は、十月六日(金)午後七時より、コミュニティセンター和室において開催いたします。

当日は市長および担当の部課長が出席するほか、地域ではコミュニティ、総代会をはじめ各団体の方々が参集し、意見交換・懇談します。



住みやすい地域作りを目指して

平成十九年度へ向け 市へ要望書提出

総代会長 加藤 保

総代会の地域活性化検討委員会では、十九年度の地域振興に関する要望を検討し、市当局に提出することになりました。

後日、市より回答をいただいたのち皆さまにご報告いたします。

- 主要道路「柏崎・越路線」鹿島山潤間の歩道拡幅の早期完成について
- 市道改良工事について
- 22 132号線
- 22 71号線(船岡)の再開
- 大広田八石林道舗装工事

越) 拡幅と山頂部切り下げによる傾斜緩和
長鳥川河川の雑木排除
北条地域内における携帯電話の不通箇所解消(災害時等に備える)

以上のほか、旧商工会跡地を引き続き借用し、現在は碎石のまま駐車場として利用しています。このため大型車の乗り入れも可能になりましたが、碎石地のため回転場および除雪作業が困難となっており、舗装工事を要望しました。

地域環境室

がんばっています!

昨年、大看板を企画制作した地域環境室が今年度はコミュニティセンター内外の整備に力を注いでいます。

コミセンの玄関を入ると、手づくりのテーブルとほのぼのとした懐かしさを感じる丸太の椅子が迎えてくれます。

また、旧商工会跡地の一角には井戸水を利用した池や憩いの緑地、素朴なベンチなどが作られています。外はまだ作業中ですが、雪降り前には完成した姿を住民の皆さまにお見せできるものと思います。